



教育センターだより

平成28年6月30日文責 遠山 榮子

教育講演会



落ち込みから元気になる方法 ～考え方と食事が大切～

講師 鈴木 由美 先生

去る六月二十五日、さくやホールにおいて、富士河口湖町PTA連合会、南都留郡PTA連合会、富士河口湖町教育センター主催による教育講演会が行われました。今年で四十四回を数えました。当日は、町内外よりたくさんの方々が参加をいただきました。

落ち込みから元気になるためには、考え方と食事が大切であるという視点に、共感を覚えた方が多かったです。日本人がもつ三つの不合理な考え方を次のように変えてみるという提案。

- ① 誰からも好かれたい↓いつも好かれるでしょうか
- ② 完璧にやりたい↓仕事で一度も失敗をしない人はいるでしょうか。ミスしないように努力することが大切なのは
- ③ できない自分はダメな人間↓一つのことでは決めることはできない

この「説得」に、「納得」された方も多かったです。アンケートには、話術も巧みで、分かりやすく笑いがいっぱい、学びがいっぱい、明日から実行できる講演内容だったという意見がたくさん寄せられました。また、心の安定に「セロトニン」、ほめれば伸びて強い心を育てる「スピンドルニューロン」、食生活・睡眠の重要性など、毎日の生活の在り方を見直し、生き方を考えていくことの大切さを振り返ることができました。講演会にたくさんのご参加、心より感謝いたします。



わっすごい！…富士山世界遺産センター

6月14日（火）、オープン前の富士山世界遺産センターで第2回研究委員会（富士山学習研究会）が開催されました。原田孝雄先生より、丁寧に施設の紹介がなされました。1000分の1の和紙の富士に驚き、光と音と映像で祈りの山である富士山を体感し、タブレットやスマホで、信仰の対象である富士、芸術の源泉である富士を何倍も楽しみ、胎内の水滴の音や、5分で富士登山も満喫しました。連携を取りつつ、学年に応じた学習への生かし方や出前授業での深め方など、研究課題も見えてきました。

特別支援教育研究会

6月29日（水）中央公民館に於いて、特別支援教育研究会を行いました。ふじぞくから支援学校の菊池恵先生より「特別支援教育の現状と課題」を、各学校より「支援状況」の情報交換を行いました。インクルーシブ教育システム、「合理的配慮」の具体例、学校・保護者との連携・校内支援体制など、その子が自分らしく生きる力、自立に向けて共に歩んでいく・いることが話し合われました。

